

私たちはいと高き方のために最善を尽くしましょう。
神は、私たちの最善にふさわしいお方です。
私の願いは、主を永遠に愛し、たたえ、主にお仕えすることです。
もし、これが皆さんの願いでないなら、今日帰るまでにそうなることを祈ります。

では、最初に祈りましょう。
全能の神よ、あなたは偉大な天地の創造主です。
あなたは、今日もいつまでも永遠に、私たちのすべての賛美を受けるにふさわしいお方です。
私たちの望みは、あなたの尽きない愛です。
今日私たちがあなたのみことばを読むとき、あなたに対する私たちの信仰をどうか強めてください。
私たちの人生が、あなたに栄光をもたらすために永遠に変えられますように。
イエスの御名によって祈ります。アーメン。

今朝、私は、皆さんに信仰の大盾を着けるよう、お勧めします。

エペソ 6 : 13-20

6:13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。
6:14 では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、
6:15 足には平和の福音の備えをはきなさい。
6:16 これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。
6:17 救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。
6:18 すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。
6:19 また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。
6:20 私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

私の神は良い父なる神であると信じますと言いましょ。この日は主が造られた、私はこの日を喜ぼうと、言いましょ。
今日は良い日になると言いましょ。ハレルヤ。主をたたえます。

皆さん、古い賛美の歌をご存知でしょうか。「主を愛そう 朝に 主を愛そう 昼に 主を愛そう 日暮れに 主を愛そう」そして、「仕えよう」、「たたえよう」と続きます。

では、詩篇 92 : 1-2 を読みましょう。

詩篇 92 : 1-2

92:1 【主】に感謝するのは、良いことです。いと高き方よ。あなたの御名にほめ歌を歌うことは。
92:2 朝に、あなたの恵みを、夜ごとに、あなたの真実を言い表すことは。

主の恵みをいつ言い表すべきだと言っていますか。朝です。そして夜ごとに、主の真実を言い表すのです。
どうか、そのとおりにしてください。毎日、主の恵みと真実を自分に言い聞かせてください。

クリス・トムリンは、「good, good Father」という賛美で、このことをうまく伝えています。その歌を自分に歌って聞かせてください。

あなたは良い父
それがあなた
私はあなたに愛されている
それが私
神よ、あなたはすべてにおいて完全なお方

では、ヨハネ第一 4 : 7-21 を読みましょう。

ヨハネ第一 4 : 7-21

4:7 愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。

4:8 愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。

4:9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

4:10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

4:11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。

4:12 いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

4:13 神は私たちに御霊を与えてくださいました。それによって、私たちが神のうちにおり、神も私たちのうちにおられることがわかります。

4:14 私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、今そのあかしをしています。

4:15 だれでも、イエスを神の御子と告白するなら、神はその人のうちにおられ、その人も神のうちにいます。

4:16 私たちは、私たちに對する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちにおり、神もその人のうちにおられます。

4:17 このことによって、愛が私たちに對しても完全なものとなりました。それは私たちが、さばきの日にも大胆さを持つことができるためです。なぜなら、私たちもこの世にあってキリストと同じような者であるからです。

4:18 愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。

4:19 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

4:20 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。

4:21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきです。私たちはこの命令をキリストから受けています。

私は今、恐れないと言えることに感謝します。神の完全な愛は、恐れを取り去ります。皆さんも恐れを克服するのに神の助けが必要なら、神の愛はじゅうぶんに強いことを覚えておいてください。そして、神とその聖なる愛を信じてください。

また、私たちが互いに愛し合わなければならぬことも忘れないでください。

では、ローマ 8 : 35-39 のみことばを、心を開いてお聞きください。

ローマ 8 : 35-39

8:35 私たちをキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。

8:36 「あなたのために、私たちは一日中、死に定められている。私たちは、ほふられる羊とみな

された。」と書いてあるとおりです。

8:37 しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。

8:38 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、

8:39 高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

神は、ご自身の愛をもってあなたの心に触れたいと願っておられます。

神が大きな愛で私を愛してくださっていることを思うと、私はうれしくなります。神はここにおられます。皆さん、感じますか。神の御霊は、ここにおられます。神の愛を知ると、ハレルヤと叫びたくなります。

では、マタイ 6 : 19-21 と 6 : 27-34 を読みましょう。

マタイ 6 : 19-21 と 6 : 27-34

6:19 自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。

6:20 自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。

6:21 あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。

6:27 あなたがたのうちだれが、心配したからといって、自分のいのちを少しでも延ばすことができますか。

6:28 なぜ着物のことで心配するのですか。野のゆりがどうして育つのか、よくわきまえなさい。働きもせず、紡ぎもしません。

6:29 しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を窮めたソロモンでさえ、このような花の一つほどにも着飾ってはいませんでした。

6:30 きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくして下さらないわけがありません。信仰の薄い人たち。

6:31 そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。

6:32 こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。

6:33 だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

6:34 だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

皆さん、元気を出してください。

神は実在のお方です。神の愛も本物です。私は日本に約 28 年住んでいます。

今、51 歳ですが、主は私と家族にずっと良くしてくださっています。

私たちは、これまで何も必要が欠けたことはありません。

これまで神が与えてくださったすべてのものに感謝します。

今あるすべても、これから与えられるすべても感謝します。

では、コロサイ 3 : 23-24 を読みましょう。

コロサイ 3 : 23-24

3:23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。

3:24 あなたがたは、主から報いとして、御国を相続させていただくことを知っています。あなた

がたは主キリストに仕えているのです。

何をするにも、主に対してするようにしましょう。私は、皿洗いもイエスのためにします。そう思えば、ぜんぜん違います。

皆さん、偉い人になりたいですか。神の御国で偉大な人になりたいですか。私はなりたいです。では、イエスは偉くなることについて何と言っておられるでしょう。

マタイ 20 : 25-28

20:25 そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおおり、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。

20:26 あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

20:27 あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたのしもべになりなさい。

20:28 人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」

しもべになることを学べば、人生が変わります。

質素に、多くを期待せず、多くを与えて生きるのは、簡単でしょうか。

私たちが願えば、イエスは助けてくださいます。

与えるだけで何も取られないイエスの特別な愛で私たちの人生を満たしてくださいませ。

笑顔を振りまきましょう。神が私たちを愛しておられるのですから。

自分のことを忘れて、他の人たちのことを考えましょう。

人にしてもらいたいと思うことをしましょう。

イエスは愛です。このお方が、私の幸せの秘訣です。

イエスは、私たちのもっとも愛するお方でなくてはなりません。他のものはすべてイエスの次におくべきです。

では、詩篇 139 : 1-18 を読みましょう。

詩篇 139 : 1-18

139:1 【主】よ。あなたは私を探り、私を知っておられます。

139:2 あなたこそは私のすわるのも、立つのも知っておられ、私の思いを遠くから読み取られます。

139:3 あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、私の道をことごとく知っておられます。

139:4 ことばが私の舌にのぼる前に、なんと【主】よ、あなたはそれをことごとく知っておられます。

139:5 あなたは前からうしろから私を取り囲み、御手を私の上に置かれました。

139:6 そのような知識は私にとってあまりにも不思議、あまりにも高くて、及びもつきません。

139:7 私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。

139:8 たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。

139:9 私が暁の翼をかって、海の果てに住んでも、

139:10 そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕らえます。

139:11 たとい私が「おお、やみよ。私をおおえ。私の回りの光よ。夜となれ」と言っても、

139:12 あなたにとっては、やみも暗くなく夜は昼のように明るいのです。暗やみも光も同じことです。

139:13 それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。

139:14 私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましい

は、それをよく知っています。

139:15 私がひそかに造られ、地の深い所で仕組まれたとき、私の骨組みはあなたに隠れてはいませんでした。

139:16 あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに。

139:17 神よ。あなたの御思いを知るのはなんとむずかしいことでしょう。その総計は、なんと多いことでしょう。

139:18 それを数えようとしても、それは砂よりも数多いのです。私が目ざめるとき、私はなおも、あなたとともにいます。

皆さん、ハレルヤと叫びたくなりましたか。

では、詩篇 147 : 11 を読みましょう。

詩篇 147:11 主を恐れる者と御恵みを待ち望む者とを【主】は好まれる。

皆さん、私といっしょに、神の尽きない愛に希望を託しましょう。
神は私たちを愛してくださっています。本当です。信じてください。
今日ここにいられてうれしいです。

最後に、最高のみことばを取っておきました。

詩篇 148 : 1-12 を読みましょう。

詩篇 148 : 1-12

148:1 ハレルヤ。天において【主】をほめたたえよ。いと高き所で主をほめたたえよ。

148:2 主をほめたたえよ。すべての御使いよ。主をほめたたえよ。主の万軍よ。

148:3 主をほめたたえよ。日よ。月よ。主をほめたたえよ。すべての輝く星よ。

148:4 主をほめたたえよ。天の天よ。天の上にある水よ。

148:5 彼らに【主】の名をほめたたえさせよ。主が命じて、彼らが造られた。

148:6 主は彼らを、世々限りなく立てられた。主は過ぎ去ることのない定めを置かれた。

148:7 地において【主】をほめたたえよ。海の巨獣よ。すべての淵よ。

148:8 火よ。雹よ。雪よ。煙よ。みことばを行うあらしよ。

148:9 山々よ。すべての丘よ。実のなる木よ。すべての杉よ。

148:10 獣よ。すべての家畜よ。はうものよ。翼のある鳥よ。

148:11 地の王たちよ。すべての国民よ。君主たちよ。地のすべてのさばきづかさよ。

148:12 若い男よ。若い女よ。年老いた者と若い者よ。

主をほめたたえよ。主をほめたたえよ。主をほめたたえよ。主をほめたたえよ。

まもなく祈りで締めくくりますが、その前に、101年前に天に召されたオズワルド・チェンバースの人生を神に感謝します。

彼の著書「いと高き方のもとに」の5月8日の記事をとおして、今年、私は深く語られました。そこには、次のようなことが記されています。

「聖徒の人生は神の御手の中にある。それは、矢を射る人の手の中の弓矢のようだ。矢を射る人には見えない的を神は目指しておられ、常に弓矢を曲げ伸ばしされる。聖徒が時折、「もう無理です」と言っても、主はそれに注意を払われない。主ご自身の目的が見えるまで、伸ばし続けられる。そうして、ついに矢を飛ばされるのだ。」

神の御手に自らをゆだねましょう。今、忍耐を必要とすることが何かありますか。信仰によって耐え忍び、イエス・キリストとの親しい交わりを保ってください。信仰は、神が聖なる愛であるという事実に基づく、強く生き生きした確信です。

では、最後に祈りましょう。

全能の神よ、あなたの偉大な愛とご真実を感謝します。
あなたの恵みがあれば毎日の人生に十分であることを、ここにいる私たちが知ることができるように、どうか助けてください。
あなたを愛し、互いを愛し合えるように助けてください。
イエスのすばらしい御名によって祈ります。アーメン。